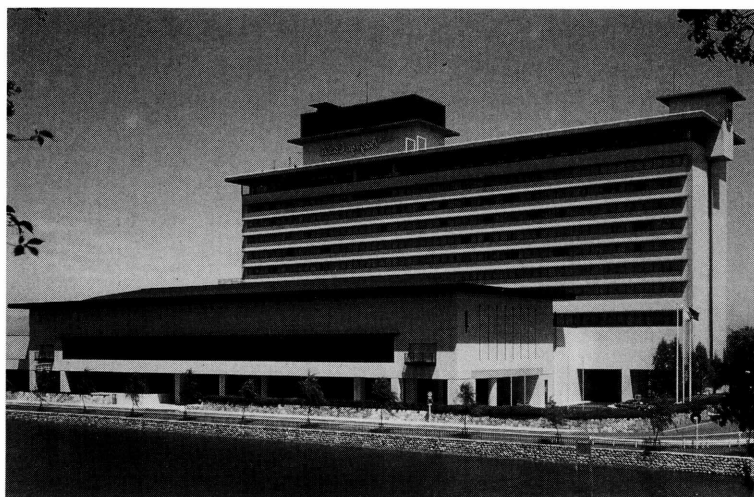


ホテル ナゴヤキャッスル

所在地 名古屋市西区
用途 ホテル
竣工年度 1969年
改修年度 1988年
所有者 (株)国際観光ホテル
ナゴヤキャッスル
設計者 (株)竹中工務店
施工者 (株)竹中工務店



【審査評】 ホテル ナゴヤキャッスルは、昭和44年に営業を開始し、その優れた立地条件、施設、サービスなどから、中京圏を代表する高級ホテルとして位置づけられた。以来25年、その位置を維持するために常に入念な保安全管理と、時代に即応した改修を実施し、今日に至るまで、なおその不動の位置を維持している。

特に、昭和62年に実施されたコンベンションホールの増築、パブリック部門と客室の改修は、その位置を更に高め、ホテル建築のリニューアルの優れた成功例として高く評価される。

周囲の景観との調和に対する慎重な配慮、既存建物との細部にわたるコーディネートなど、その建築計画は周到に行われている。また、時代に即応した新しい機能を、既存建物と全く違和感なく実現し、見る者に、その改修を気づかせることがないインテリア設計も評価に値する。

設備の改修は、建設当初の設計理念を継承し、その発展として、環境負荷に配慮した省エネルギー化を実現している。それは、従来の水蓄熱システムの延長としての氷蓄熱システムの採用、油焚ボイラーに対するガス焚機能の追加、クーリングタワーブロー水の再利用など多項目にわたる。

これらのリニューアルは、ホテルの日常機能を完全に維持しながら、その施工が実施された。そのため、ホテルと施工者で建築委員会が組織され、ホテル動線、居住環境、安全など、ホテル機能の維持についての入念な検討が行われ、万全な施工計画が立案、実施された。また、現場作業の少ない工法、騒音振動の少ない工法、火気使用の少ない工法、墜落災害の防止処置などが実施され、工期の短縮、無災害などを実現している。これらは、リニューアル工事独特の困難な施工課題の克服として高く評価されるだろう。

このように、本リニューアルは伝統を尊重し、その伝統との調和のもとに常に時代に即応した最新の機能を追求する施主の理念、この理念に応じた設計者の優れた企画と設計、またこの設計を、ホテルの機能を維持しながら、安全・確実・迅速に実現させた施工者の技術、これらの総合の賜物といえよう。